

笑顔をふやす

社会福祉法人 あゆみの会

# すまいる保育園



社会福祉法人  
あゆみの会

〒 356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 3-11-3  
TEL.049-265-4882 (となりのすまいる保育園内)

 伊佐沼すまいる保育園

 高階すまいる保育園

 三丁目すまいる保育園

 鶴ヶ岡すまいる保育園

 となりのすまいる保育園



# こどもは今を 生きています

## 「ほいく園」から 「おやこ園」へ

あゆみの会の保育園は幼児教育を行う施設として、こどもたちとの日々のくらしや遊びの中で養護と教育を一体的に進めます。

園と保護者、保護者同士の絆を深め、子育てとともに乗り越え、園が「子を持つこと」から「親になること」への架け橋となること、園と保護者が「21世紀の社会(Society 5.0)」に主として参画し、コミュニティの形成に貢献します。



## すまいる保育園 の保育

### こどもたちに 社会情動スキル (非認知的能力)の 基盤を創ります

未就学期は社会情動的スキル(非認知的能力)の基盤ができる大切な時期です。好奇心を持ち、工夫をする、諦めず仲間と協調して取り組む等の非認知的能力は、生涯を支える大切な資質となります。



## 保育の視点

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こどもたちが生きる未来——、仮想空間と現実空間が高度に融合し、ビッグデータから最適情報を簡単に利用できる、AIやロボットと共生する社会(Society 5.0)が到来すると言われています。一方、技術の進歩は環境に深刻な影響をもたらし、地球や他者との調和がとれた持続可能な社会の実現と(注1:SDGs)その教育(注2:ESD)が求められています。

\*注1: SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な発展のための目標  
\*注2: ESD (Education for Sustainable Development) SDGsのための教育・保育



### 未来に貢献する やさしい心を育みます

地球環境や技術発展の速度は、私たちの生活だけではなく地球全体にも大きな影響を与える問題です。持続可能な未来のために、地球を守り、仲間と協同する利他的な心を育んでいきます。

### 環境を通じての 保育・教育

こどもたちは、過ぎた昨日、まだ来ない明日ではなく、今を生きています。すまいる保育園ではこどもの「今」を大切に大学研究者等の知見を取り入れ、こどもたち自らが主体的に挑戦できる環境や活動を整え、こどもたちの発達を見守り、促す丁寧な保育を進めます。園と保護者が連携し、遊びや生活、豊かな経験を通じて、こどもたちに生涯を支える生きる力を育みます。



### SDGsを実現するESD「持続可能な社会づくり」のための課題解決に必要な 6つの視点と7つの能力・態度

#### 持続可能な社会づくりの構成概念

#### 6つの視点

1. 多様性（いろいろある）
2. 相互性（関わりあってる）
3. 有限性（限りがある）
4. 公平性（一人ひとり大切に）
5. 連携性（力あわせて）
6. 責任性（責任を持って）

#### 課題解決に必要な 7つの能力・態度

1. 批判的に考える力
2. 未来像を予測して計画を立てる力
3. 多面的・総合的に考える力
4. コミュニケーションを行う力
5. 他者と協力する力
6. つながりを尊重する態度
7. 進んで参加する態度

出典：国立教育政策研究所「学校における持続可能な発展のための教育(ESD)に関する研究(最終報告書)」

## 保育理念

自分のことが好きなこども（養護）  
自分のことができるこども（教育）

### すまいる憲章

- Sincerity** (正直・誠実) すまいるのこどもは、ありのままの自分を大切にできます
- Moderesty** (謙虚・慎ましさ) すまいるのこどもは、思い合うやさしい気持ちを持っています
- Ideal** (理想・理念) すまいるのこどもは、心に夢がいっぱいあります
- Learning** (学び・学習) すまいるのこどもは、たくさん学びチャレンジします
- Expression** (表現・態度) すまいるのこどもは、気持ちを素直に伝えられます

### すまいる保育園の保育 10 のコツ

- 自分がやられて嫌なことは、こどもにもしない
- 魚をあげるより釣り方を、水をあげるより井戸の掘り方を
- 大切なことは目には見えない（行為の裏にはわけがある）
- あわてない、急がない、せかさない
- 分けたらあかん（分断は憎しみ、融合は愛のメッセージ）
- 時間・空間の制限、行きつく先は刑務所
- おとなのやりやすさはこどものやりにくさ
- なぜできないかではなく、どうすればできるのか？
- 本質を見抜くことに最大の努力をはらう
- こだわらない、かたよらない、とらわれない

### 3つの大好き ～保育目標～

- からだを使うことが“大好き”な子
- あたまを使うことが“大好き”な子
- ひとと関わることが“大好き”な子

## 子どもの成長を育む環境

### 保育のポイント

年齢	育ちのキーワード	発達の様子	保育の環境
0歳	自分との出会い	おとなからの働きかけに応える時期	信頼と注意を育てる環境 仰向けやうつ伏せで、腰を中心全身を動かす環境 見る・さわる・なめることができる環境
1歳		環境を探索する時期	自由に探索できる環境 這う、登る、転がるなどの基本的な動きが経験できる環境 起きている間中、手を使える環境
2歳	他者との出会い	自我が拡大し自分の遊びが生まれる時期	粗大な動きと多様な運動ができる環境 物を操作し道具を使用する環境 想像力と言葉を育む環境 一人遊びと並行遊びを保障し自我の拡大を受け止める環境
3歳	言葉との出会い	対象に合わせた調整機能が高まる時期	調整を伴う運動ができる環境 生き物と出会い採集や栽培ができる環境 友だちとごっこ遊びをする環境 言葉による表現を促す環境
4歳		グループとの出会い	造形による表現の世界を広げる環境 こどもの個性に対応し多様な経験を保障する環境 概念を体験的に学習する環境
5歳	ルールとの出会い	協同的な学びへと向かう時期	体験から抽象的な学習へつなぐ環境 テーマを持って協同作業を継続的に行う環境 根気強く、細かな調整機能を伴う活動ができる環境 年長児の挑戦的な活動ができる環境

### 保育の計画

#### 春

- ひな祭り
- 卒園式 / 入園式・進級式
- 慣れ保育 / 内科検診
- 普通救命救急講習

#### 秋

- 総合防災訓練 / 秋祭り
- ハロウィン
- 親子ふれあい遊び会
- 内科検診

#### 夏

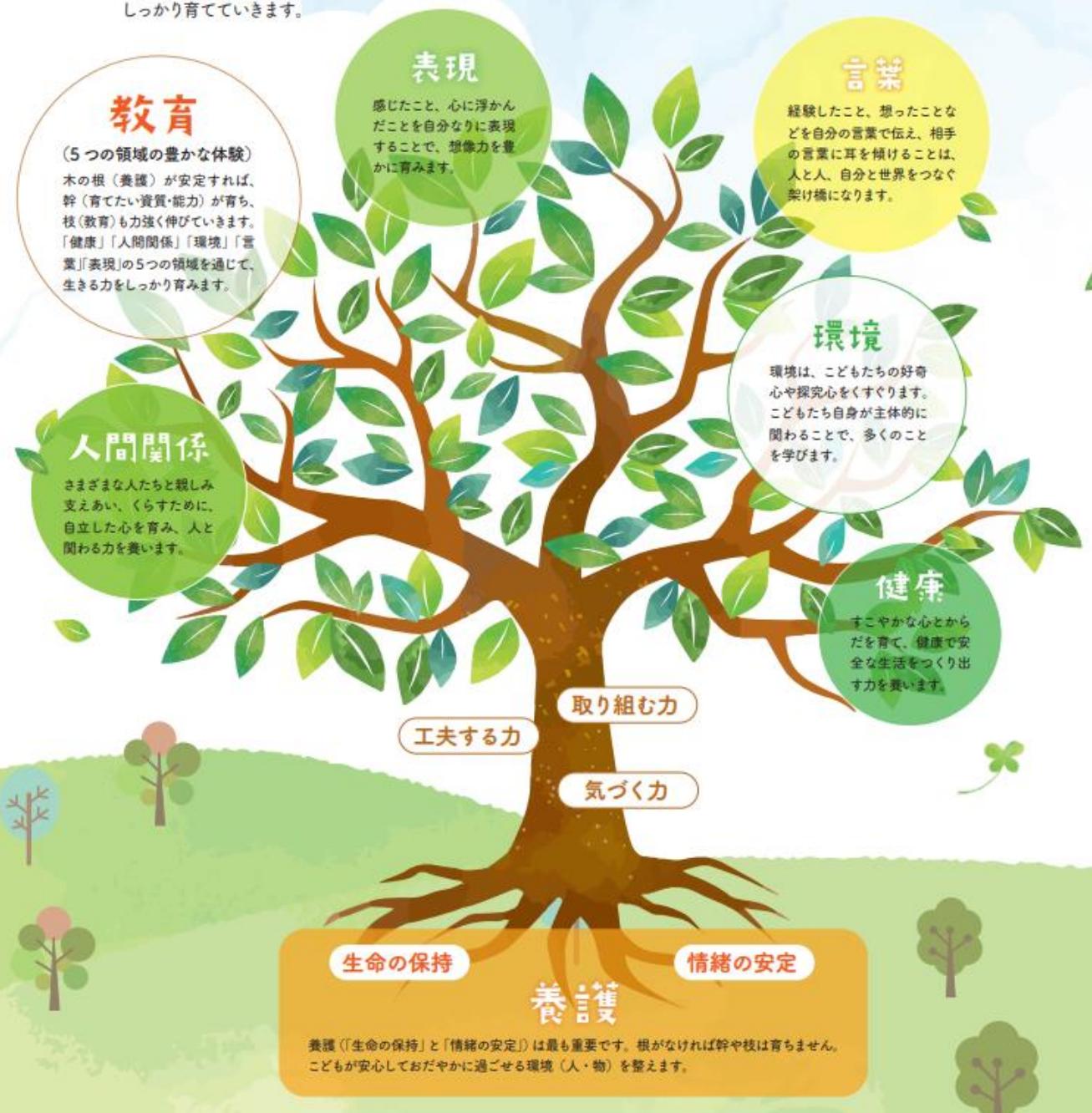
- クラス懇談会 / 歯科検診
- 総合防災訓練
- 七夕遊び / 夏祭り

#### 冬

- ウインターフェスタ
- お餅つき / 伝承遊び会
- 節分 / クラス懇談会
- 保護者総会

# 保育所保育指針に基づき 根拠ある保育を進めます

IQでは測れない「気づく力」「工夫する力」「楽しく取り組む力」といった“非認知的能力”。  
ありのままで良いという“自己肯定感”は、5歳までの未就学期にその基盤ができると言われています。  
すまいる保育園では、保育所保育指針に基づき、5つの領域を通じて“非認知的能力”や“自己肯定感”を  
しっかりと育てていきます。



人間  
関係

## 異年齢保育



思いやりや感謝の気持ち、喜び、怒り、悲しみ、楽しみなど、心や感情は人の関わりの中で育ち、大きな子は小さな子から、小さな子は大きな子から多くのことを学びます。4月生まれの子も3月生まれの子も、年齢の差を感じることなく、一人ひとりの発達に合ったお友だちとともに過ごす制限の少ない空間・時間の中で、人と関わる力を育みます。

環境・  
表現

## ゾーン保育



積み木を積んだり、絵を描いたり、折り紙を折ったり、おままごとをしたり、虫を飼ったり、魚をみつけたり、絵本を読んだり、ごろごろしたり、ロフトに登ったり、ゲームをしたり、こどもたちは好きなゾーンで自分のペースで遊びこみます。こどもたちの好奇心、「やりたい!」気持ちをしっかり引き出せる環境を整えます。

健康

## 生活・屋外活動



ボタンをはめたり、靴を履いたりすることも立派な運動です。三輪車やストライダーに乗ったり、水遊びやどろんこ遊びをしたり、こどもたちは日々の生活や遊びの中で指先やからだ全体を使うことで五感やボディイメージ、からだのバランス感覚を身につけていきます。毎日のさまざまな活動を通じ、すこやかな心とからだを育みます。

言葉

## セミバイキング



想ったことを自分の言葉にして伝え、相手の話に耳を傾け、想いを感じるコミュニケーション力を育みます。給食やおやつはセミバイキングで、「今日は少しでお願い」「わかった」など、こどもたちは言葉のキャッチボールを行います。生活や遊びの中で気持ちを言葉に変える経験をたくさんします。

# 育ってほしい10の姿

10の姿とは、保育所保育指針により小学校との連携を視野に策定されました。

保育活動全体を通して資質・能力が育まれているこどもの小学校就学時の具体的な姿であり、

保育者は保育を行う際にこの姿を考慮しています。

きら  
宙グループ[5歳児]といっしょに  
みんなで遊べる環境をつくろう!

Step 1

環境について  
学びます



高階すまいる保育園に現れた、  
吹き抜けの高さを利用した巨大  
なロフト。



Step 2  
こどもたちと  
設計図を  
つくります



鶴岡すまいる保育園の園庭は、宙グループさんに理想の園庭をアンケート。  
こどもたちが話し合いを重ね、設計図をつくりました。こどもたちが自ら参画し、  
考え、実現することを大切にしています。

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 1 健康な心と体
- 2 自立心
- 3 協同性
- 4 道徳性と規範意識の芽生え
- 5 社会生活との関わり
- 6 思考力の芽生え
- 7 自然との関わり
- 8 数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚
- 9 言葉による伝え合い
- 10 豊かな感性と表現

Step 3

みんなで環境を  
つくります

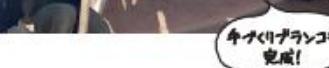
環境づくり当日は他園の保育者も参加し、  
ロフトなどをつくりていきます。こどもたち  
も一緒に参加します。



すまいるのアドバイザーの先生のメッセージ

一級建築士・こども環境アドバイザー  
福島学院大学客員教授  
関東学院大学・流通経済大学・大妻女子大学  
(非常勤講師)  
株式会社 Integral Design Studio  
代表 井上 寿先生

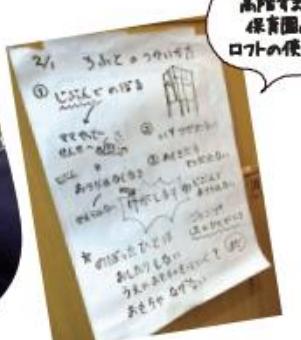
環境はこどもにとって大切な学びの場です。  
「どんな学びが必要なのか」と試行錯誤しながら、在園児一人ひとりのことを思い浮かべ手づくりでつくり上げることは、こどもと保育者、保護者の方々の信頼関係を築き上げる最良の方法なのではないかと考えています。



キラリープランコも完成!

Step 4 遊びのルールを  
自分たちで考えます

できあがった園庭やロフトを前にこどもたちは大興奮。遊ぶ前にどうやったら楽しく・安全に使えるか、みんなで意見を出し合ってルールを決めています。自分たちで考えたルールだからこそ、決めたルールはみんなで大切にしています。



Step 5

こどもたちが  
ぐんぐん育ちます

小さな子から大きな子までのびのびとからだを動かしながら、ぐんぐん育ちます。



# 私たちの保育の方法

## すまいる委員会

### ESD～非認知的能力を育む質の高い保育を実現します

すまいるの保育は、すまいる委員会での話し合いから生まれます。「保育」「安全」「食育」「研修」「総合」の5部会があり、各部会には計14の小委員会があります。各園の担当委員が、概ね月1回話し合い、各園の保育を考えます。

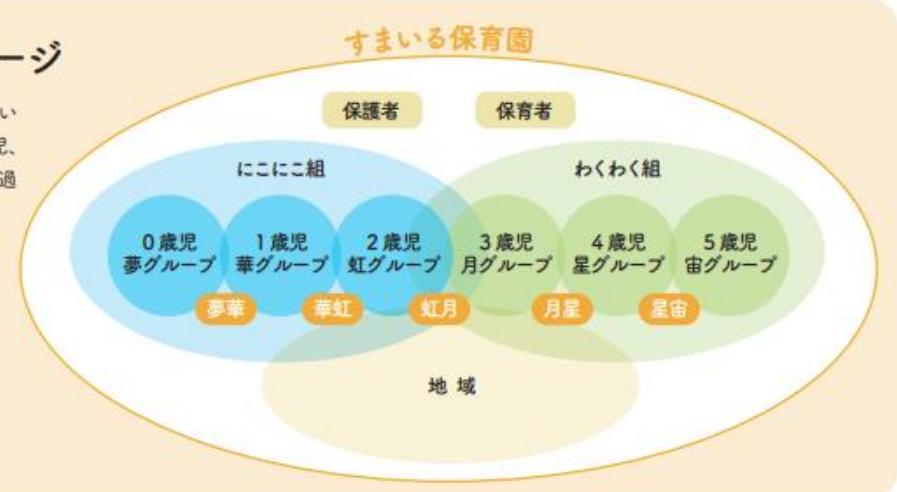
すまいる委員会の保育アドバイザーは、大学研究者等を中心に、各園を巡回し、保育環境や発達援助のアドバイスを行い、非認知的能力を育む根拠ある保育を行います。

## ・法人組織図



## ・保育のイメージ

空間と時間の制限が少ない  
保育室の中で、0～2歳児、  
3～5歳児がゆるやかに過ごします。



## ●部会・委員会紹介

### 保育部会

0～1歳児、1～2歳児、3歳以上児の各委員会にて、こどもたちの発達を促す環境や発達について話し合い、各園で実践します。



### 研修部会

保育の質を高めるために、保育の専門家を招いての研修や自己評価、各園巡回等を行っています。



### 安全部会

マニュアルの見直しや救命講習のほか、看護師の知見を集約し、安心・安全な園内生活を守ります。



### 食育部会

すこやかな心身を育む食。栄養バランスの優れた献立作成はもちろん、栽培や料理等こどもたちが食にふれる機会を設けています。



### 保護者委員会

乳幼児期の子育てには保護者と園の連携が欠かせません。ともにこどもたちを見守りながら保護者支援を行います。



### 地域委員会

地域に開かれた保育園を目指して、子育て支援センターの運営や、地域の方々との交流を進めます（→ 14 ページ）。



## 保育計画とふりかえり

### 発達や学びをつなぐ スタートカリキュラム

スタートカリキュラム入門の実践法  
（文部科学省）

未来へ続くこどもたちの  
発達と学びのために

こどもたちの発達や学びは、保育園を卒園しても続いていることを目指す。私たちは小学校教育へつなげるために、文部科学省の「スタートカリキュラム」を中心に保育計画の策定や、大学の専門家を招いての保育のふりかえりを行い、未来を担うこどもたちの「生きる力」を育みます。

### すまいるのアドバイザーの先生のメッセージ

こども教育宝仙大学  
こども教育学部  
幼稚教育学科  
准教授  
富山 大士先生



すまいるのアドバイザーとして、具体的な保育のアドバイスをしてくださる高山先生

職員研修を重ね、一人ひとりのこどもの理解を深めて保育をより改善・向上し続けているすまいります。  
こどもも保育者も保護者も、みんなが「すまいる」になれる園へと育っていくことのできる園だと私は信じており、そのための応援を今後ともさせていただきたいと思っています。

ようこそ!

こどもがそだつ すまいる保育園へ

## 企業主導型保育園



### となりのすまいる保育園

令和2年4月開園

令和2年4月、企業主導型保育園「となりのすまいる保育園」が開園しました。  
三丁目すまいる保育園の卒園児さん、すまいる保育園職員のお子さまは優先して入園できます。



### 三丁目すまいる保育園、 働く仲間の連携施設

法人で就労する職員のお子さまや、連携企業にお勤めの方のお子さま、三丁目すまいる保育園を卒園したお子さま、地域にお住まいのお子さまで、0歳児から未就学児までが通っています。園舎には噴水遊びができる屋上庭園のほか、地域交流のための施設「おとなりさん」を併設しており、地域に開かれた保育を目指しています。姉妹園「三丁目すまいる保育園」と緊密に連携しながら、一体化した活動を行っています。



晴れた日はスカイツリーや富士山が見える屋上庭園。人工芝の築山や小さな噴水などで、こどもたちは楽やかに遊んでいます



保護者・地域委員会では、子育て中の保護者さま、地域にくらす皆さまがありのまま過ごせる場所づくりを考えています。子育てひろばの企画・運営のほか、オンライン委員会と協力しインスタグラム、YouTubeを活用した21世紀の新しい支援を模索・拡充しています。



## 法人理念【笑顔をふやす】



社会福祉法人  
あゆみの会  
理事長  
浅川弘子

むかしこどもだったことを忘れずに

こどものにとって うれしいおとなでありたい

「おかえりなさい」のお声がけで表情が和らぐお母さんがいます。  
連絡帳に書かれた小さなコメントを何より楽しみにしてくれている  
お父さんがいます。

こどもたちのことを語りだしたらとまらない保育者がいます。いのちの手  
ざわりを感じる、お食事を考える厨房の仲間がいます。こどもたちのケガ  
や病気にやさしく寄り添う看護師がいます。誰かのお役に立てることが  
自分の豊かさだと思う働く仲間たち。試行錯誤を愉しみながら、こどもた  
ちとのくらしを創っていく、いのちの物語が輝く原風景とともに紡いでみ  
ませんか？ 小さな一步からゆっくりとあゆんでいきたいと思います。

## 主な法人沿革

平成22年12月	社会福祉法人あゆみの会 創設
平成23年 4月	埼玉県川越市にて認可保育園 伊佐沼すまいる保育園を開園 および地域子育て支援拠点事業を開始
平成27年 4月	埼玉県ふじみ野市にて認可保育園 三丁目すまいる保育園を開園
平成28年 4月	埼玉県ふじみ野市にて認可保育園 鶴ヶ岡すまいる保育園を開園 および地域子育て支援拠点事業を開始
令和 2 年 4月	埼玉県川越市にて認可保育園 高階すまいる保育園を開園 埼玉県ふじみ野市にて 企業主導型保育園 となりのすまいる保育園を開園 および地域子育て支援センター おとなりさんを開始



社会福祉法人あゆみの会  
リンク  
<https://lit.link/ayuminokai>